

健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします

「健全化判断比率」と「資金不足比率」は各会計の財政状況を示す指標で、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、毎年度公表することが地方公共団体に義務付けられています。

早期健全化基準…基準値以上となると、財政破綻の一步手前の状態とみなされ、外部の財務監査を受け、財政健全化計画を策定することになる地方公共団体(財政健全化団体)に指定されます。

財政再生基準…基準値以上となると、財政が破綻しているとみなされ、国の管理下で再建に取り組むことになる地方公共団体(財政再生団体)に指定されます。

※該当がない場合は、「-」で表示しています。

健全化判断比率

① 実質赤字比率

地方公共団体の標準財政規模(標準的な収入額を示す数値)に対する一般会計等(普通会計)の実質赤字の比率であり、赤字の深刻度を表しています。平成22年度の一般会計、環境衛生事業特別会計並びに住宅資金貸付事業特別会計の実質収支の合計は黒字であり、実質赤字比率は該当せず、財政の健全性を表しています。

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実質赤字比率	-	-	-
早期健全化基準	13.25	13.21	13.17
財政再生基準	20.00		

② 連結実質赤字比率

標準財政規模に対する、公営事業を含む地方公共団体の全会計の実質赤字の比率であり、地方公共団体全体における赤字の深刻度を表しています。平成22年度の全会計の連結実質収支は黒字であり、連結実質赤字比率は該当せず、財政の健全性を表しています。

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
連結実質赤字比率	-	-	-
早期健全化基準	18.25	18.21	18.17
財政再生基準	35.00		

③ 実質公債費比率

標準財政規模に対する、公債費(借入金の元利償還金)及び公債費に準じた経費の比率の3ヶ年平均であり、数値が大きいほど資金繰りが悪化していることを表します。また、実質公債費比率が18%以上になると、地方債を発行する場合に都道府県知事の許可を受けなければならない、25%以上になると、地方債の発行が制限されます。平成22年度の実質公債費比率は16.7%で、早期健全化基準を下回り、財政の健全性を表しています。

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
実質公債費比率	17.3	16.8	16.7
早期健全化基準	25.0		
財政再生基準	35.0		

④ 将来負担比率

標準財政規模に対する、地方債(借入金)残高のほかに一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率であり、数値が大きいほど将来財政を圧迫する可能性が高いことを表します。平成22年度の将来負担比率は126.3%で、早期健全化基準を下回り、財政の健全性を表しています。

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
将来負担比率	149.7	131.6	126.3
早期健全化基準	350.0		

資金不足比率

公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の比率であり、数値が大きいほど経営状態が悪化していることを表します。観光事業を除く5つの特別会計においては、経営健全化基準を下まわり健全性を示しています。観光事業特別会計は128.7%で経営健全化基準を上回りましたが、昨年度数値より6.5ポイント数値が改善し、新市発足以降毎年会計の健全化が進んでいます。なお、観光事業特別会計は、平成21年度に経営健全化計画を策定し、さらなる経営健全化に取り組んでいます。

特別会計の名称	資金不足比率(%)			
	経営健全化基準	平成20年度	平成21年度	平成22年度
水道事業会計	20.0	—	—	—
病院等事業会計		—	—	—
公共下水道事業会計		—	—	—
観光事業特別会計		169.5	135.2	128.7
農業集落排水事業特別会計		—	—	—
簡易水道事業特別会計		—	—	—

経営健全化基準…地方公共団体が自主的かつ計画的に公営企業の経営の健全化を図るべき基準として定められた数値であり、基準値以上となると、外部の財務監査を受け、経営健全化計画を策定することになります。

問合せ先 財政課(☎0837(52)5226)

観光事業特別会計 経営健全化計画実施状況報告

1. 計画と具体的な措置の状況

- ・ テレビ、ラジオスポット等による積極的な広告宣伝、観光キャンペーン等の展開
- ・ 九州新幹線の全線開通に伴い、九州南部地域での秋芳洞、秋吉台のPRを行い、修学旅行等の団体客誘致活動を展開
- ・ 施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信
- ・ 施設管理系の職員1名と秋芳洞案内業務の職員を5名減員し、その不足分を委託職員で対応
- ・ トロン温泉について閑散期の営業時間を1時間短縮し、入浴施設の一部閉鎖。また、休業日の見直しを実施
- ・ 秋吉台リフレッシュパークと秋吉台家族旅行村の包括的管理の検討

2. 資金不足額解消の状況

区分	年度	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)		平成22年度 (第2年度)		～	平成26年度 (計画完了年度)
当初計画(A)			159,138		250,215		～	132,072
解消実績額(B)			221,882		184,998			—
(B) - (A)			62,744		-65,217			—
資金不足額		1,312,648	1,090,766		905,768			0
資金不足比率		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値		計画値
		169.5	141.1	135.2	113.1	128.7		—

3. その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 美祿市総合観光振興計画を策定し、振興策と経営健全化について、平成26年度までに優先的に実施する重点プロジェクト9項目を策定
- ・ 養鱒場について、鱒の販路拡大と釣り堀での使用料収入の増加を旨とした取組を実施
- ・ 国の交付金事業による秋芳洞内の照明のLED化、黒谷出口の人工トンネルにアートパネルの設置等イメージアップの実施
- ・ 職員の研修セミナーへの派遣、接遇研修の充実等、来客者の満足度を高める取組を実施

問合せ先 総合観光部(☎0837(62)0304)